



身延山久遠寺

vol 10

令和5 / 夏



立雲寺 だより



日蓮宗の総本山である身延山久遠寺に参拝したことがあるでしょうか。私(光汰)はこの五月に約五年ぶりに参拝してきました。

今年、日蓮聖人が身延山に入山されて七五〇年という記念すべき年です。これに合わせて「日蓮聖人身延御入山七五〇年宗門法要」が、日蓮聖人が入山されたと伝えられる五月十七日に身延山久遠寺にて行われました。

法要前には、全国から集まった青年僧約二六〇名が太鼓を打ち鳴らしお題目を唱え、総門から菩提梯(ぼだいてい)という大きな階段を登って大本堂までの道のりを行脚しました。私も参加しましたが、暑さと菩提梯の急な階段で、大本堂に着く頃には汗まみれで足が棒になっていました。しかしそんな事も忘れる程に青年僧の行脚は圧巻で、太鼓とお題目の音が身延山中に響き渡っていました。

七五〇年前、日蓮聖人は当時何もなかった身延山に入られ、



〒050-0086
北海道室蘭市大沢町 2-4-1
TEL (0143)44-4306
MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト



以来約九年にわたり法華経の読誦と弟子達の教導、そしてこの世に生きる人々の平穏を祈る日々を過ごしました。そしてその教えは絶えることなく今日までに及びます。

日蓮聖人のお手紙『波木井殿御書』の中の一節「身延の沢を吹き抜ける風も、その風に揺るぐ木々や草花、そして川を流れる水さえも、みんなお題目を唱えている」というように、行脚中、法要中だけでなく、身延山について聞こえてくる音のすべてがお題目に聞こえるようで、心が洗われます。まさにここが聖地なのだ」と改めて実感しました。

立雲寺は以前、毎年一〜二回、身延山や各地の日蓮宗の本山等に団体参拝(お寺主催のお檀家さんと共に参拝する旅行)を行っていました。ここ数年行けておりませんでした。復活に向けて準備中です。

その時はぜひ、身延山はじめ各お寺を参拝してその空気を一緒に感じましょう。

夏号もくじ

- 1 身延山久遠寺
- 2 立雲寺お盆期間
- 3 永代供養墓

- ペット供養墓
- 行事報告 (6月)
- 行事予定 (9月)
- 限定御朱印
- 4 教室案内
- 学びの時間

令和5年
8.16 (水)

- 13:00 盂蘭盆法要
- 17:30 行脚開始
- 18:45 灯ろう流し



立雲寺お盆期間

お盆はご先祖さまの魂があの世界からこの世に帰ってくる期間です。
ご先祖様を迎える準備をしましょう。



卒塔婆



お釈迦さまは法華経の中で「皆、塔を起てて供養すべし」と説かれており、それが時代と共に卒塔婆に変化していきました。卒塔婆は亡き方へ自分の供養の気持ちを表す「手紙」のようなものです。立雲寺では卒塔婆供養をとっても大切にしております。

亡き人の為に。これまで命を紡いできてくれたご先祖様の為に。癒しをくれたベットの為に。そして自分も徳を積む事ができます。僧侶はお経とともに皆さまのそんな気持ちを、全ての精霊に心を込めて届けるのです。

水塔婆



お盆期間に先祖代々、故人の戒名を書き入れてご供養する小さいお塔婆。川に流したり水向供養として水に入れることから水塔婆と呼ばれます。

立雲寺では、棚経（ご自宅でのお盆参り）の際にお渡しします。戒名・先祖代々・水子一切・ベットの名前等を書き入れ、水を入れたコップに立て、お盆の間ご自宅のお仏壇、または各家お骨段にお祀りしご供養します。16日の法要までに当寺へお持ち下さい。

水塔婆は16日の灯ろう流しの際にお焚き上げしてご供養します。

灯ろう流し



灯ろうに先祖代々・戒名・水子一切・ベットの名前等を書き入れ、ご供養と感謝の気持ちを込めて「また我々を見守ってくださいね。」と精霊をお送りします。またご先祖様だけでなく、多くの精霊が救われるよう祈るものです。

立雲寺では、16日13時からの盂蘭盆会大法要にて灯ろうをお祀りし、ご供養をします。その後17時半にお寺を出発し「南無妙法蓮華経」とお題目を唱えうちわ太鼓を叩きながら行脚をし、19時頃よりイタンキ漁港にて灯ろうを流し供養いたします。



盂蘭盆会法要

場所 立雲寺本堂
日時 8/16 (水) 13:00

灯ろう流し

場所 イタンキ漁港

日時 8/16 (水) 16:00~19:00
出店予定 ・trip box (カレー) ・le ciel (クレープ)
・LEAF KITCHEN (クロッフル)
・うおえもん (天ぷら・唐揚げ)
・焼き鳥 ・くじ引き

願い灯ろう作り

場所 立雲寺本堂
日時 7/22 (土)~8/14 (月)
本堂にて予定が入っている場合がある為
来寺時間を事前にご連絡ください。

自身で先祖供養、願いや目標、感謝の意…等「自身の思い」を書き込み、祈りを込めてご先祖様に報告・約束をする灯ろうです。



9月13日開眼法要

この度、檀信徒の皆様にご寄附をお願いし、現在工事中である「永代供養墓」「ペット供養墓」がこの夏に完成予定です。つきましては完成式並びに開眼法要を9月13日（水）13時半より「馬頭祭」と併せて厳修致します。

お墓の申込受付は9月14日より開始致します。ご不明な点はお問合せください。



ペット供養墓

- ・お寺が永代にわたりご供養
- ・過去の宗派に関わらず、申込後は日蓮宗の法式でご供養。
- ・他所からの改葬可能

「ペットの供養をしっかりとしたいが、お骨をどうしたら良いか…」という声を多くお聞きします。「ペット供養墓（合祀型）」に納骨されたペットは、飼い主様が参拝できなくなった後もお寺でご供養して参ります。

また、今後「ペット納骨堂（個別型）」も建立予定ですので、個別に供養をしたいという方はお待ちください。



永代供養墓

- ・お寺が永代にわたりご供養
- ・過去の宗派に関わらず、申込後は日蓮宗の法式でご供養。
- ・他所からの改葬可能

立雲寺の永代供養墓では、後継がなくお参りにいける方がいなくなってもお寺がある限り永代にわたってご供養していくことを一番に考えております。（詳細は別紙を参照）

ご家庭によって様々な事情があると思います。故人やご先祖、そして見ていく方にとって良い形でご供養していただけるよう、お申込みをご検討している方はまずはお相談ください。

限定御朱印 ※書き置きのみ。
直書きは帳面お預かり。

「七夕」

7月限定

頒布期間 7/7～7/31 志納金 1,000円

「棚幡（たなばた）」とはお盆の時にご先祖様を迎える「精霊棚」に安置する幡。七夕はお盆の準備を始める日としての意味も含むようになりました。



報行
告事

六月
〜
七月

6/11（日）鬼子母神祭

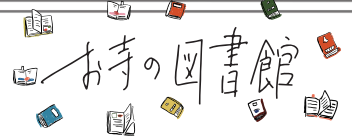
今年から、コロナ禍以前の形に戻し、周辺寺院の僧侶にご出仕頂き行いました。やはり多数の僧侶によるご祈禱は迫力がありました。

予行
定事

九月

9/13（水）馬頭祭並びに
各墓開眼法要

9/23（土）秋彼岸会法要



今季の一冊



『仏さまの履歴書』

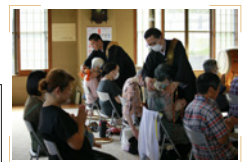
市川智康 著 / 水書房

仏教には様々な神仏がおられます。その仏さまにはそれぞれ専門分野、生い立ち、エピソードがあり、姿形にも深い意味があります。インドから日本に伝わる中で変化を... (光汰)

(光汰)

教室案内

調 寺ヨガ guna



参加費 (ハーブティー付) 1,000円 マットレンタル 200円

Table with 3 columns: 朝ヨガ (7/23), 昼ヨガ (7/28), 夜ヨガ (7/20, 27). Includes times and a note about cancellations.

講師 林南歩 寺ヨガの定期開催は7月で終了です。今後は不定期開催となります。 TEL 080-9610-1030

公文書写教室



〈学べる教科〉 バン習字 かきかた 筆ペン 毛筆

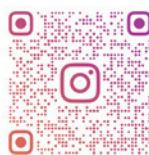
8月【1日トライアル実施中】 月・火曜学習日で一日のみ無料体験可能

9月無料体験学習

11日 / 18日 / 25日 (月) 17:00~20:00 12日 / 19日 / 26日 (火) 14:00~19:00

※体験希望の方は事前にお問い合わせ下さい。 講師 林香織 TEL 090-5079-0747

立雲寺 Instagram



RITSUUNJI

立雲寺 LINE 公式アカウント



@183iejsa

様々なご相談を随時受け付けております。お気軽にメッセージください。

男

はため息をついた。自分の人生は何だったのだろうか。真面目に定年まで働いたが、中古で買った家のローンに追われ、趣味も持たず、ただただ生きてきた。一年前に妻が倒れ不自由な身体となり、家事と妻の介護、全て自分やらなければならなくなった。残りの人生もこんなものか。お先真っ暗だ。愚痴の言葉が次々と出てくる。猫の額ほどの小さな庭で洗濯物を干しながら、またため息が漏れ出た。ふと視線を感じて目をやると家の中から妻がこちらに向かって手を合せて泣いている。急いで側まで行

学びの時間



第10回

「有難う」

文・林永清

林永清 (はやし・えいしん) / 立雲寺副住職。令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学びの時間」を連載開始。

行くと、おぼつかない口元から聞こえた言葉は「ありがとう、ごめんね」だった。元気があった頃、仕事から帰ると夕食が出来ていた事、作業着がいつもキレイになっていた事、そして笑っている妻の顔が頭に浮かんだ。ずっと苦楽を共にしてきたのだ。「ありがとう」という言葉の本当の意味を妻から教えてもらった。男は涙を流し、妻に心から感謝した。その日から男の人生は豊かになり、妻の介護も喜びを感じながら出来るようになった。何気ない日常こそが「有難い」事です。本当の豊かさとは、心の中にあるのですね。 拝

春夏秋冬

それは孫達と動物園を満喫した次の日に突然やってきました。噂の「ひざ痛」です。某有名なサプリメントの音楽が頭の中をグルグル流れてきます。とにかく正座が出来ない(泣)専門の方に診ていただいたところ、長年のクセと筋力の低下。そうですよね。何の努力もせず今まで呑気にしていたのだ。 ただ私の直近の目標は『七面山への登詣』山登りなのです。少しづつ筋トレを始めなければ(汗)絶対に七面山に登って参拝するぞお! ※七面山: 総本山身延山の裏鬼門をご守護する七面大明神が祀られている霊峰聖地です。(恵)